

ZANDEN Model 120 の展開(44)
ーベートーヴェン全集を聴く(44)ー

1. 始めに

前報(43)に引き続き、ベートーヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、ベートーヴェンのピアノ 3 重奏曲を聴いていきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

ドイツグラモフォン MG9558

ヴェンツェル・ミュラーのリート<私は仕立て屋カカドウ>による

ピアノ 3 重奏曲のための変奏曲ト長調

ピアノ 3 重奏曲のための 14 の変奏曲変ホ長調

ピアノ 3 重奏曲変ホ長調

ピアノ 3 重奏曲変ロ長調

ウイヘルム・ケンプ(ピアノ)

ヘンリク・シュリング(ヴァイオリン)

ピエール・フルニエ(チェロ)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

ヴェンツェル・ミュラーのリート<私は仕立て屋カカドウ>によるピアノ 3 重奏曲のための変奏曲は、いかにもリートの主題から編曲された曲のようで、ピアノ、ヴァイオリン、チェロがよく歌っています。

ピアノ 3 重奏曲のための 14 の変奏曲は、変奏曲らしくピアノ、ヴァイオリン、チェロが互いに受け渡ししながら、あるいは組み合わせを替えつつ、主題の表情を変えながら進んでいきます。

ピアノ 3 重奏曲変ホ長調は、3 楽章からなる曲で 3 楽章ともピアノ、ヴァイオリン、チェロともよく弾み、明るく楽しく聴ける曲です。

ピアノ 3 重奏曲変ロ長調は、1 楽章だけの曲で変ホ長調と同様、明るく快活な曲です。

4. まとめ

今回も、アナログアキュライザーを TruPhase の入力側と出力側にセットしたことで TruPhase の導入および LP-12 のカルーセルの導入により、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上